

進路指導部

「せしん」

進路指導主事 清水利夫

進路区分	男子		女子		計
	進	退	進	退	
四年制大学	34	22	56		
短期大学	1	14	15		
専門学校等	11	36	47		
進路未定者					0
小計	18	57	75		
就職者	16	42	58		
自己就職			1	1	
卒業予定者	65	129	194		

3年生H27.10現在の進路希望

高校生の大学進学を、今春の目的として調査した。調査したものである。大学進学を調査したい職業がある。「学びたい学問がある」「特に就きたい職業、学びたい学問はないが、いい大学に進学したい」「特に就きたい職業、学びたい学問はなく、入りたい大学に進学したい」に分けて選択してもらった。以下のようになった。

国立・私立共に、将来就きたい職業を目的として進学した割合はおよそ三割強であった。また、「学びたい学問がある」を併せて、大学に学びの目的がある学生はおよそ七割であり、大学に進学することだけが目的だった者は三割程度に留まった。

「学びたい学問があつて進学」する典型的な学部は、人文、理学、工学系統などである。それらの学部は、常に学問を探究し、学生の期待に応えるために、最新の知見を元に専門教育を充実する。もう一つのデータから見える大学への進学目的。「大学に行けば、社会に出るための知識やスキルを身に付けられる」と思う「かどうかの質問に、学部系統別集計の結果」とてもそう思う「まあ、あそこ思う」の肯定的回答が、学部系統を問わず八〇%以上となつている。つまり高校生は、学部系統を問わず、大学に行けば自動的に社会に出るための教育をしてくれる、と思つているようである。

これらのデータが示唆しているのは、高校生の大学に対する期待と、大学教育が提供しているもののギャップの可能性である。特に、学びたい学問を志して進学する者の半数は将来就きたい職業をイメージしていないが、その大半は大学に行けば社会に出るための知識やスキルを身につけられるだろうと漠然と考えている。この状態に大学（特に人文系や理学系の学部）はしっかり対応できているだろうか。学部が行うのは専門教育で、二年秋になつたらキャリアセンターが就職のための面接指導やテスト対策など、小手先のスキルを教えている、というのがほとんどの実態ではないだろうか。進学の目的は「ま」とである。目指すべき最終ポイントであり、目標の標は「しるべ」であるから、あくまでも通過しなければならぬものであり、そこに留まらなければいけぬ。車のナビでも目的地を設定すると途中の通過地が表示されます。これが道標（みちしるべ）となり、この標を通過して進むことにより、効率よく目的地に到着することができるようである。

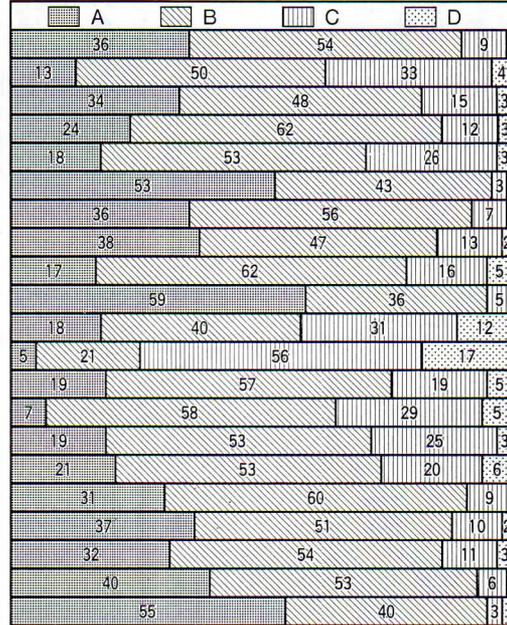
目的をもつて大学に行くことは十八歳の時点で素晴らしいことですが、しかし目的が明確でないまま大学に入ったとしてもその大学という目標校で学ぶ過程で自分自身の適正に気づいたり、発見したりして人生の目的を明確にすることも大切である。大切なのは、親子で将来を語り合ひ、疑問点を先生に尋ねたり、自分の目で確かめたりしながら時間をかけて煮詰める過程である。子は親が自分のことを愛生懸命に考えてくれて、成長を打ち明けてくれることにより、成長を見ることはできません。腹を割って話し合う時間をたっぷり楽しんでください。

「保護者アンケート」の結果

十一月下旬にご協力いただきました保護者アンケートの結果を報告いたします。回収率は昨年と同じ九八・三%で、紙面の都合で質問項目はその意図が失われない程度に短縮してあります。今年度は、いじめに関する項目を追加させていただきます。グラフ内の数値は質問項目ごとの割合を100%とした場合の割合です。

1年 回答数 192

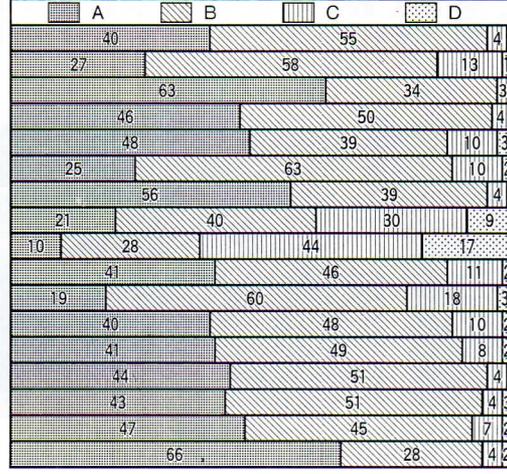
No.	項目	A	B	C	D
1	学校の教育活動に関心がある	36	54	9	1
2	学校のPTA活動に関心がある	13	50	33	4
3	子どもと、学校生活についてよく話す	34	48	15	3
4	教育方針をPTA総会等でわかりやすく伝えている	24	62	12	3
5	家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行っている	18	53	26	3
6	基本的なルール、マナーの育成に努めている	53	43	3	1
7	生徒指導の方針は、機会あるごとに周知されている	36	56	7	1
8	生徒指導の方針に共感できる	38	47	13	2
9	いじめの防止・早期発見等に適切な対応をしている	17	62	16	5
10	学力向上、各種検定取得等に取り組んでいる	59	36	5	1
11	家で勉強する時間は以前より多くなった	18	40	31	12
12	家で本を読む姿を多く見かけるようになった	5	21	56	17
13	学校生活の状況等、情報提供が十分	19	57	19	5
14	ホームページの情報提供が充実している	7	58	29	5
15	子どもと、進路について以前より多く話す	19	53	25	3
16	部活動や生徒会活動は充実している	21	53	20	6
17	学校行事は量・内容とも適切である	31	60	9	1
18	学校環境は安全で充実している	37	51	10	2
19	生徒の教育に熱心に取り組んでいる	32	54	11	3
20	生徒は、いきいきとした高校生活を送っている	40	53	6	1
21	子どもを清風高に入学させてよかった	55	40	3	2



とに全体を100%とした場合の割合です。評価Aと評価Bの合計が全体の八三・五%（昨年度は八三・一%）を占め、全体としては評価の値が昨年度より向上しております。アンケート結果とお寄せいただきましたご意見につきましては、今後の学校運営改善のための資料として活用させていただきます。また、一月開催の学校評議員による学校関係者評価でアンケート結果を報告し評価をいた

2・3年 回答数 389

No.	項目	A	B	C	D
1	教育方針をPTA総会等でわかりやすく伝えている	40	55	4	1
2	家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行っている	27	58	13	1
3	基本的なルール、マナーの育成に努めている	63	34	3	1
4	生徒指導の方針は、機会あるごとに周知されている	46	50	4	1
5	服装・頭髪等の容儀指導は共感できる	48	39	10	3
6	いじめの防止・早期発見等に適切な対応をしている	25	63	10	2
7	学力向上、各種検定取得等に取り組んでいる	56	39	4	1
8	家で勉強する時間は以前より多くなった	21	40	30	9
9	家で本を読む姿を多く見かけるようになった	10	28	44	17
10	面談で、学校生活や進路情報提供が十分	41	46	11	2
11	ホームページでの情報提供が充実している	19	60	18	3
12	子どもと、進路について以前より多く話す	40	48	10	2
13	学校は進学や就職に適切な指導をしている	41	49	8	2
14	学校行事は量・内容とも適切である	44	51	4	1
15	学校環境は安全で充実している	43	51	4	3
16	教職員は、生徒の教育に熱心である	47	45	7	2
17	子どもを清風高に入学させてよかった	66	28	4	2



大きくことになっております。その結果も踏まえ、今後の学校づくりのために努力をしていきたいと考えております。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。なお、学校評価アンケートの集計結果についての詳細は、一月中旬頃にホームページに掲載する予定です。保護者の皆様、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございます。

全項目とも2年・3年の保護者共通です。